

平成30年度

子ども大学ひらつか

奏アカデミー東海大学

—開催報告—

<今年度 開催概要>

- 【開催日時】 平成30年11月24日（土）・25日（日） 10:30～14:30
- 【会場】 東海大学湘南キャンパス19号館 301A・B教室
- 【参加者数】 市内小学校4～6年生 76名（1日目38名、2日目38名）
- 【参加費】 無料
- 【開催数】 8回目（平成23年度より毎年1回実施）

<開催の様子>

水の実験～教訓茶碗を作ろう!!～



【講師】岡田工教授（現代教養センター）

水は高いところから低いところへ流れるのが当然？J字管という特殊な形の管を使った実験で、水の不思議な性質を目の当たりにしました。J字管の仕組みを用いて自作した「教訓コップ」からは、「過ぎたるはなお及ばざるがごとし」の教えを学ぶことができました。「科学にはまだわかっていないことがたくさんある。発見者になるのはみなさんかもしれません」という岡田教授の言葉に、子どもたちは意欲がかき立てられたようでした。

空気と光の実験～空の秘密をときあかそう～



【講師】 チャレンジセンター サイエンスコミュニケーター

子どもたちに科学の楽しさを伝えるために活動している学生グループが講師を務めてくださいました。普段あまり接することの少ない大学生と触れ合うことで、自分の将来の姿を思い浮かべた子どももいたのではないのでしょうか。身近にある「空気」「光」をテーマに、大学ならではの装置を使った実験から自分で工作した器具を使った実験まで、科学の世界を十分に体験することができました。

子どもの知的好奇心や感性を育てることを目的に開催している「子ども大学ひらつか」。

東海大学では理科実験をテーマに、大学教授・大学院生・大学生の皆様がそれぞれ工夫を凝らしたメニューで子どもたちを迎えてくれました。

普段体験できない大学の教室という充実した環境で学んだ経験が、参加した子どもたちの今後に活かされることを期待します。

<参加者の声>

声

子

- いろいろなことがわかったりして楽しかったです。また、来てみたいです。
- 身近なことにも科学がつかわれていることがわかった。
- 初めて聞いた言葉があったので、それを理科のじゅぎょうにいかしていきたいなと思いました。
- 先生や大学生がおもしろくて、来てよかったですと思いました。
- いままで知らなかった事がたくさん知れて良い経験になった。
- じっけんや話をきいて、いろいろなことが学べた！

…など（参加者アンケートより）

声

親

- つきそいのつもりで行ったのですが、保護者もしっかり楽しんで、ためになる一日でした。
- 近くに素晴らしい設備の整った環境があり、子どもたちが関わらせてもらえるのは大変有難いです。
- 昼休みがあるのも大学内を見て回るのに丁度よかったです。
- 普段、本で読む事はあっても実際に目の前で実験が行われる機会は少ないので、これを機に色々興味を持ってほしい。
- 子どもが興味を持つテーマで専門の方から講義を受けることができ、とても有意義でした。将来のイメージが少しできたのではないかと思います。

…など（保護者アンケートより）

（お問い合わせ）

平塚市教育委員会 社会教育課（社会教育担当）